



いつまでも初々しくあるために

私たちはあなたの学習指導を応援します

JAIS

Japan Association
For the development of
Independent study

発行
社団法人 日本通信教育振興協会
〒160-0015
東京都新宿区大京町26野口ハウス304
●お問い合わせ tel.03-3352-1971
fax.03-3352-7015
●ホームページ http://www.jais.or.jp/
●メールアドレス info@jais.or.jp

No. 03 2007.3.12

シリーズ

半学
1
半教



教えるはじょうを楽しまおう

佛教大学教授 白石克己

積極的に「打って出る」ことも大切

学習指導員の重要な仕事は「学習」し「指導」することです。しかし完全に「学習」してからでないと「指導」なんておこがましい、と考える必要はありません。「指導」することによって「学習」することがあるものです。福澤諭吉はその私塾で「半学半教」を掲げました。君は学ぶ側だ、私が教える側だという区別などせず、互いに入れ替わって教わったり教えたりすればいい、と考えたのです。

この考えで学習指導員は「一芸一能」を究めるまで人様に教えることは控える、と考えなくていいのです。よく学ぶために教えてみようと考え、積極的に「打って出て」教えてほしいのです。「教える」と言いにくいならば、「伝える」というのもよいでしょう。

知らずに用意していた「教える」材料

さて、第一回は「教える喜び」について述べます。

私は自宅で園芸を楽しんでいたことがありますが、興味深いことが起きました。

垣根もない道路沿いの庭ですから、通りすがりの人が声をかけて来るのです。「トマトらしい本当の香りがしますね」と。そのうちに見知らぬ人が「苗と苗の間にワラを敷いたほうがいいですよ」とか「たしかに連作は無理ですが、深く掘り返し土を替えてやれば来年も実りますよ」と教えてくれるのです。

世の中には親切な方がいるものだ、と私は感心しましたが、皆、一様に誇らしげに語っているのを発見しました。私に教えるのが楽しいのです。東京といっても元は地方出身の人の集まりですから、田舎で過ごしたころの農作業の知恵を伝えてくれるのです。私のささやかな園芸は通りすがりの他人に「教える」喜びを用意していた面があったのです。

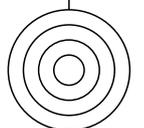
まずはじめたい「講演デビュー」

実際、各地で学習を続けつつボランティアで教えるのを楽しんでいる人がいます。ボランティアというところに福祉関係のボランティアを思い浮かべますが、それは狭いイメージです。自発的にみんなのために対価を期待せずにする活動ならなんでもいいのです。素人には育てるのが難しいバラや蘭を咲かせるコツを教える。

植物園や動物園でガイドをする。囲碁・将棋、ヨーガ、ダンスを教える。郷土史を学んで観光客に地元の名所を案内する。なかには行政の一端を担っている市民もいます。米沢市では「生涯学習ボランティア・マナビスト」が生涯学習講座の開催や学校の学習支援をしています。武蔵野市では団塊の世代が団塊力を生かすまちづくり案を市に提案しています。

有料で教えている人もいます。手芸、習字、押し花絵などの特別の技能を教授しています。謝金をもらってフィッティングを教え、釣り場まで同行する人に出会ったことがあります。大阪市から指導者として認定された方でした。富山インターネット市民塾にはネットで自分の特技を教える講座がありますが、学費は指導者本人が決めることができます。有料だからこそ責任をもって教えるというのも立派な学習指導員の活動です。

そのために、熱心にボランティア活動したりいろいろなセミナーに出席して勉強していけば、将来が楽しみになります。活動が公認されるように、仲間でNPO団体として認証される運動をするのもいいでしょう。ともかくだれだって「公園デビュー」ならぬ「講演デビュー」ができます。



美しい国の日本語



濱口太久未

文部科学省
生涯学習政策局
生涯学習推進課
民間教育事業振興室 室長

戦後の国民の教育水準を向上させ、社会経済の発展を支えてきた教育基本法（昭和二二年の成立以来全く改正されていない）が、昨年末、六〇年経って初めて改正されました。私が旧文部省に入ってから一五年になりますが、自分の周りでは、このように、その当時は全然予想していなかったような大きな出来事がここ数年続いています。省庁が再編され、国立大学法人の制度ができ、義務教育国庫負担金の在り方が議論される等々。特に新しい教育基本法では、旧法の普遍的な理念を大切にしながら、今日極めて重要と考えられる理念等

が明確にされているのですが、新教育基本法の提示する理想や理念（個人の尊厳を重んじる・公共の精神を尊ぶ、伝統の継承・新しい文化の創造など）を実現する上で大切にすべきは、「日本語」だと私は考えます。

*

ところでこの「日本語」、その使い方には実はなかなか難しいと実感する毎日です。例えば、

- ① 誤法である「ケンケンガクガク」「申し訳ありません」
 - ② 重ね言葉が二回・三回の「かねて（従来）から」「かねてからの懸案事項」
 - ③ 文法上の使い方を間違えやすい「輩出」
 - ④ 意味内容の取り違えがよくされる「流れに棹さす」「櫂を飛ばす」「慥然」
 - ⑤ 本来の読み方がされにくい「十点」
 - ⑥ 別の漢字が誤用されやすい「独擅場（どくせんじょう）」
- とか、それこそ各種調査や書籍でよく指摘されるように、枚挙に暇がない。
- こうしたことを見聞きするにつけ、私は美しい国の言語を大事にし、正しく使いたいと思ひ直すのですが（それでもいまだに自信を持ちきれません）、皆さんはいかがでしょう？

がんばりましょう、私たち！

学習指導員の活躍記

「習得した技術をみなさんに知ってもらいたい」——こんな素朴な思いから学習指導員の講座を受講し、習得した知識や技術を多くの人たちに伝えようとする学習指導員有資格者の仲間が続々と増えつつあります。本欄では、そんながんばり屋の学習指導員が、どんなふうに参加しているのか語っていただきました。なお、今回掲載した学習指導員の方々の連絡先等は通教振事務局（TEL：03-33352119 / FAX：03-33352170）へお問い合わせください。

私の技術を少しでも役立てたい

庭園技能学習指導員
煙山利定（秋田県）

私は学習指導員の資格を取得するまでは、樹医として、また、庭園管理士としてシルバー人材センター3ヶ所派遣講師をしていました。

庭園技能学習指導員としてみどりの大切さを再認識

庭園技能学習指導員
古川勝也（東京都）

私は在職中から希望していた庭園管理士と庭園技能学習指導員の資格取得を、



子どもたちとの 出会いに感謝!

ペン習字学習指導員
守屋裕子(群馬県)



私が学習指導員の

講座を受講しようと思ったきっかけは、「将来、ペン習字の指導者になりたい」と思ったからです。受講当初は具体的な計画はありませんでしたが、現在は縁あって子どもを通う小学校で、学校ボランティアとして書写の授業のお手伝いをさせていただいています。

この活動では、講座で学んだことがとても役立っています。それは「教えるにあたり、無計画ではダメだ」ということです。まさに十人十色の生徒たちに「何」を「どこまで」「どうすればわかりやすく伝えられるか」ということをつねに意識していただければなりません。また生徒だけでなく、先生方の「求めるもの」もよく理解しておかなければなりません。私にとって大変なことですが、授業は和気あいあいとした雰囲気です。学校外で子どもたちと会うと、話しかけてきてくれます。それがとてもうれしく、ボランティアをやったよかったです。今ではこの講座を受け、指導者としての経験ができたことは、私にとってかけがえのないものとなっています。

「折紙」を通じて

心の交流を深めたい

折紙学習指導員
山内明子(埼玉県)



私が学習指導員講

座を受講したときに最初に感じたことは、テキストの内容が堅苦しく、難しいということでした。年齢的に記憶力も低下して物覚えも悪く、内容の理解力も衰えていて、問題を解くにも時間がかかりました。ですから最後までやり遂げる自信がなく、とても不安でした。

しかし、「人生は死ぬまで勉強することに意義がある」と思い直し、年齢を忘れて、脳の活性化のため努力したことから無事合格し、学習指導員に認定されました。

指先を細かく動かす「折紙手芸」は脳を活性化するので認知症の予防にもなります。現在私は老人ホームなどのお年寄りや障害者センターの方たちと折紙を通じて心と心の絆、ふれあいを何よりも大切にしていきたいと思っています。



学習指導員のことを知ったのはマ

ツクイ虫被害が甚大な秋田で、樹医として古木へのマツノザイ線虫予防や巨木の樹勢回復などに努め、庭園管理士として春は庭木の剪定、秋には庭木の冬囲いなど多岐にわたって活躍していたときでした。早速受講して資格を取得し、登録を済ませると、わが町美郷町シルバー人材センターから冬囲いの講師の依頼がありました。依頼に応えるべく、50数名の方に午前と午後2回に分けて講義を行いました。(写真)

私は「自然・緑と水・森林を未来に」をモットーとする「アグリビジネス」を主宰しています。昨春は仙北市にある武家屋敷内の樹木(材質腐朽病)の治療を、市教育委員会文化財課より依頼され、武家屋敷管理人として行いました。これからも私が修得した技術は少しでも多くの方に知っていただき、役立てていただければと思っています。



定年退職後に挑戦し、念願かなって資格を得ることができました。長年会社人間だったため、地域の輪にかけ込むのに時間がかかりましたが、最近ではボランティア活動にも参加するようになり、いろいろな方から庭木の手入れの手伝いを求められます。

私の住んでいる東京都中野区は、都内の中では比較的に少人数の区ですが、「緑化フェア」の実行委員や関係者の皆様の努力で、花と緑あふれる中野の街づくりを合言葉に、最近では緑が増えてきています。また、「育てようみどりの心、みどりの中野」を合言葉に「花と緑の祭典」が春と秋に行われており、昨年は剪定教室が大人気で、期待以上でした。今年、私はこの祭典の実行委員に就任することになりましたが、これからも指導員の名に恥じないよう地域の方々にも少しでもお役に立つよう頑張りたいと思っています。



地方自治体からの お知らせとお願い

栃木県教育委員会生涯学習課

生涯学習のニーズに応えるための登録を
猪瀬清隆

栃木県は生涯学習社会「とちぎ」を目指し、様々な取り組みを行っています。とくに学習の成果を何らかの形で生かし、社会で活躍しようとする皆様を応援しており、そのための仕組みとして「生涯学習ボランティアセンター」を県内9箇所に設置しています。

これは、ボランティアとして活躍したい方々とボランティアにきてもらいたい方々を結びつけるシステムです。登録方法は簡単です。栃木県総合教育センターか県内8箇所にある教育事務所にご連絡いただければ登録用紙をお送りします。登録をしていただくと、ボランティアのニーズがあったときにはご連絡を差し上げるほか、定期的に各種

青森県企画政策部人づくり戦略チーム

活動域拡大に欠かせない「広報活動」
主幹 渡部靖之

内閣府の「生涯学習に関する世論調査」(平成17年度)によれば、生涯学習をする理由として、「趣味を豊かにするため」に次いで高いのは、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」となっています。成人を対象とした講座・教室等の「講師」の役割は、個々の技術・技能の指導が中心となることは言うまでもありませんが、学習者の多くが、個人的な技能の向上と同時に、「仲間づくり」を求めていることもまた事実なのです。

であるとすれば、講師の側もそうした学習者のニーズに



応えるべく、学習者同士の交流やネットワークづくりができるような手立てを工夫することも大切でしょう。学習の最初に簡単な自己紹介やゲームをして場を和ませたり、学習者同士が気軽に「教え合う」ことができるような働きかけが求められます。

一方、学習指導員としての活動の幅を広げるためには、積極的な「広報活動」も欠かせません。青森市のボランティア支援団体「青い森ボランティアズクラブ(AVOC:エーボック)」では、登録しているボランティアがどんな学習支援や活動ができるのかを、一人当たりA4判一頁にわたって詳細に紹介する工夫をしています。津軽風、箏曲、家計簿記帳など多彩なプログラムや活動履歴をまとめ、冊子として提供しているのです。単なる「人材バンク」とは一味も二味も違う「内容の深い」自己アピールの試みと言えます。

ボランティア関係の情報をお送りしています。ぜひ登録していただき、栃木県での活躍を願っています。



また栃木県では、学校・家庭・地域が一体となって子どもの生きる力をはぐくむとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指す「ふれあい学習」、そして、学校の教育活動を支援する「学校支援ボランティア活動」も積極的に推進しています。このような活動にご協力いただけます(連絡先:栃木県生涯学習ボランティアセンター 028-665-7207)。

事務局だより

学習指導員の熱意が伝わってきました!

平成18年10月7日(土)、茨城県水戸市で、社団法人日本通信教育振興協会主催の第18回生涯学習奨励賞表彰式が挙行されました。この表彰式は、通信教育を優秀な成績で修了された方を表彰するものですが、昨秋までに学習指導員となられた方にもご参加いただき、ご来賓の文部科学省、茨城県教育委員会、そして受賞者の方々に学習指導員の紹介がなされました。また生涯学習を研究

なされておられる佛教大学教授白石克己先生から、地域での学習支援活動を目指す方のためにはなむけのご挨拶をいただきました。

今年は岡山県で開催されますが、学習指導員同士の交流の場を用意させていただく予定です。ご期待ください。



表彰式に参加された皆さん

学習指導員名簿 2006年9月～2007年1月資格取得者

※下記の個人情報は、各人の諸活動に資するためのものであり、(社)日本通信教育振興協会ではその趣旨に基づき掲載しています。下記の情報を活用される場合は、その意図を理解され、十分なお配慮をお願いいたします。

ガーデニング学習指導員			佐野 雪美 ……静岡県	糠沢 国雄 ……神奈川県	石井 和子 ……大阪府		
河上 道子 ……北海道	長橋 郁子 ……静岡県	佐藤 好一 ……神奈川県	井本 仁美 ……愛知県	中前 優 ……神奈川県	梅田 真由美 ……大阪府		
佐々木 幸子 ……北海道	松本 洋子 ……愛知県	尾崎 潤 ……愛知県	多賀 久美子 ……滋賀県	倉橋 昭 ……京都府	松本 知子 ……大阪府		
鈴木 元子 ……北海道	中野 道子 ……京都府	児嶋 徳和 ……長崎県	高橋 恵子 ……北海道	鬼海 元幸 ……熊本県	与儀 美代子 ……大阪府		
大東 正範 ……北海道	矢野 利行 ……京都府	平海 れい子 ……兵庫県	畑中 東一 ……青森県	小野寺 優子 ……北海道	早川 英二 ……兵庫県		
柴田 ちや子 ……岩手県	灘 理恵 ……兵庫県	平山 由美 ……鳥取県	齋藤 浩 ……福島県	狩野 亜砂乃 ……北海道	山崎 延子 ……兵庫県		
齋藤 浩 ……福島県	平海 れい子 ……兵庫県	高木 眞弓美 ……岡山県	渡辺 ミヨ ……福島県	岸本 美穂 ……北海道	新子 予至子 ……奈良県		
渡辺 ミヨ ……福島県	平山 由美 ……鳥取県	塚迫 一慶 ……広島県	田村 尚子 ……茨城県	簡 智恵子 ……岩手県	城尾 彩 ……高知県		
田村 尚子 ……茨城県	高木 眞弓美 ……岡山県	石川 和江 ……徳島県	両方 恭一郎 ……栃木県	畠山 幸恵 ……宮城県	鶴田 かず美 ……福岡県		
両方 恭一郎 ……栃木県	塚迫 一慶 ……広島県	内川 正廣 ……福岡県	平方 光司 ……群馬県	武石 早苗 ……茨城県	森 秀子 ……長崎県		
平方 光司 ……群馬県	石川 和江 ……徳島県	門野 誠二 ……福岡県	稲富 房子 ……埼玉県	金原 美佐代 ……栃木県	パソコン学習指導員		
稲富 房子 ……埼玉県	内川 正廣 ……福岡県	砂田 礼子 ……福岡県	高橋 さゆり ……千葉県	小菅 貴子 ……栃木県	藤田 美保 ……静岡県		
高橋 さゆり ……千葉県	門野 誠二 ……福岡県	立石 文隆 ……福岡県	森本 貴代和 ……千葉県	麦倉 てる子 ……栃木県	塚迫 一慶 ……広島県		
森本 貴代和 ……千葉県	砂田 礼子 ……福岡県	森川 昌代 ……福岡県	両川 理恵子 ……千葉県	宇田川 尚子 ……埼玉県	ブライダルフラワー学習指導員		
両川 理恵子 ……千葉県	立石 文隆 ……福岡県	中島 厚子 ……長崎県	池邊 かよ子 ……東京都	小侯 宏 ……埼玉県	登坂 喜代子 ……宮城県		
池邊 かよ子 ……東京都	森川 昌代 ……福岡県	本多 節子 ……長崎県	伊勢崎 恭代 ……東京都	相楽 正敏 ……埼玉県	石川 真輝子 ……茨城県		
伊勢崎 恭代 ……東京都	中島 厚子 ……長崎県	福原 洋子 ……熊本県	菱川 良恵 ……東京都	永嶋 紀世美 ……千葉県	田所 二三子 ……茨城県		
菱川 良恵 ……東京都	本多 節子 ……長崎県	阿部 俊子 ……大分県	目黒 由美子 ……東京都	日下 則子 ……東京都	上米良 かおり ……愛知県		
目黒 由美子 ……東京都	福原 洋子 ……熊本県	田代 道子 ……大分県	奥山 佳代子 ……神奈川県	清水 義弘 ……東京都	長谷 和美 ……京都府		
奥山 佳代子 ……神奈川県	阿部 俊子 ……大分県	廣田 加代子 ……鹿児島県	黒沢 長二 ……神奈川県	末次 弘昌 ……東京都	守屋 幸子 ……京都府		
黒沢 長二 ……神奈川県	田代 道子 ……大分県	藤原 保英 ……北海道	瀬谷 百合香 ……神奈川県	船渡 倉之助 ……東京都	川端 恵子 ……大阪府		
瀬谷 百合香 ……神奈川県	廣田 加代子 ……鹿児島県	煙山 利定 ……秋田県	宮川 猛 ……神奈川県	中島 三枝子 ……長野県	中溝 恵子 ……大阪府		
宮川 猛 ……神奈川県	藤原 保英 ……北海道	小川 傳 ……福島県	坂本 克代 ……長野県	松尾 明美 ……岐阜県	菊川 裕幸 ……兵庫県		
坂本 克代 ……長野県	煙山 利定 ……秋田県	柴崎 輝子 ……茨城県	下枝 浩二 ……長野県	沖 美千代 ……愛知県	ペット服学習指導員		
下枝 浩二 ……長野県	小川 傳 ……福島県	新出 好 ……東京都	長島 美千栄 ……長野県	奥村 しげみ ……愛知県	西野 三穂 ……大阪府		
長島 美千栄 ……長野県	柴崎 輝子 ……茨城県	細野 政幸 ……東京都	金平 裕子 ……新潟県	ペン習字学習指導員			
金平 裕子 ……新潟県	新出 好 ……東京都					兼本 輝美 ……兵庫県	
松浦 美恵子 ……岐阜県	細野 政幸 ……東京都					洋服リフォーム学習指導員	
赤堀 れい子 ……静岡県						林 裕子 ……鹿児島県	

学習指導員の方々へのお問い合わせは
通教振事務局 (TEL:03-3352-1971/FAX:03-3352-7015) へお尋ねください。

JALS ホームページ <http://www.jais.or.jp/>

正しい日本語

- ①「ケンケンガクガク」は「喧喧囂囂(ケンケンゴウゴウ)」「侃侃諤諤(カンカンガクガク)」が混交した言葉。ちなみに「喧喧囂囂」はめいめいが言いたいことを言っていて騒がしい様子で、「侃侃諤諤」はいろいろな人がいろいろな意見を言っていて騒がしい様子をいいます。
- ②「申し訳ありません」…正しくは「申し訳ない」。同様に「とんでもありません」も誤用で、正しくは「とんでもない」。どちらでもこの言葉です。
- ③「流れに掉さす」は「時流に逆らう」という意味ではなく「時流に乗る」こと。「櫂を飛ばす」は「活を入れる」という意味ではなく、「自分の主張や考えを述べて同意を求め、行動を促す」こと。「激」ではなく「激」に注意。「慥然」は、「慥」が失意を形容する漢字で「落胆するさま」。「腹を立てているさま」の意味ではありません。
- ④「ごめつた」は誤読。「十本(じゅうぽん)」「十指(じゅうし)」「十徳(じゅうとく)」「ごめつた」。
- ⑤「独壇場(どくだんじょう)」と間違いやち。

(編集部注)

Q「ちよとしたしかけ」とはどのようなものですか？

講習を企画する際、学習のメニュー＝学習プログラムのところに、学習者の効果的な姿容をもたらすようちよとした「しかけ」が施されていれば望ましいとあります。この「しかけ」とはどのようなことでしょうか。

A「しかけ」で違ってくる講習の楽しさと持続性

「しかけ」と聞いて何を連想されますか。手品の仕掛け、仕掛け火花：辞書によれば「装置」「からくり」とあります。それでは、学習プログラムの中の「しかけ」とは何でしょうか。

私たちが講習を受ける際、その動機は「園芸の知識・技術を習得したい」「書道が上手になりたい」といった学習上の目的が中心です。しかし、興味深い講習にするにはさまざまな内容を盛り込み、より楽しい講習を行うことも必要です。この内容（企画）が「しかけ」です。最初に目にするプログラムに面白そうな「しかけ」が書かれていると、受講者にとっ



ても待ち遠しくなりますね。

講習は一回限りのものと、数回にわたるものがありますが、「しかけ」は学習プログラム中のどんな時期にも考えることができます。

たとえば、園芸の講習のはじめに自己紹介をする際、「自己紹介—あなたの花と一緒」と書かれたプログラムがあるとします。企画者はあらかじめ誕生月の花や各県の県花を調べておき、受講者の生まれ月や出身地の話題として提供します。

普通の自己紹介よりも緊張がほぐれ、会話が弾んで学習への意欲も増すのではないのでしょうか。

また、数回シリーズの講習で慣れをリフレッシュするため、郊外の植物園や野山へ出かけて観察する一日を設けることも、ひとつのしかけでしょう。

講習の成果として、剪定された樹木や育ててきた植物を写真にとり「発表会」や「アルバム作り」をしたり、収穫した野菜を調理して「収穫祭」を行うのも楽しそうです。

生涯学習は各人が質の高い時間を過ごすための学習です。息の長い学習活動も、学習プログラムのアイデアに富んだ「しかけ」によって、より魅力的で思い出深いものになるのです。

学習指導員制度推進委員会からのお知らせ

1. 学習指導員認定登録が続々

認定登録者は291名(2007年2月26日現在)に達しました。今後も続々認定者が増大いたします。全国の地域での指導者として活躍が期待されております。

2. 「学習指導員講習」の受講資格

「学習指導員講習」の受講資格は、通教振認定の「生涯学習奨励講座」の修了生のほか、一般の方、たとえば教員免許、国家資格、公的資格、民間資格などの有資格者、および専門的な知識や技能をもつ方が、「生涯学習奨励講座」の修了生と同程度以上の専門技能をもっていると協会(推進委員会)が認めた場合、「学習指導員講習」を受講できます。

①「生涯学習奨励講座」修了生 ▶ 受講資格あり

②一般の方 (教員、国家資格・公的資格・民間資格取得者、技能保持者など) ▶ 当協会にて受講資格の適否審査を行ないます。

*詳しくは事務局にお問い合わせください。

「学習指導員」認定資格は、こんな資格です!

学習指導員は「学習指導員講習」を受講・修了し、生涯学習指導者としてのスキルを身につけた方に与えられる資格です。

●資格取得対象者

以下のすべての条件を満たす方が対象です。

- ①通教振が認定する「学習指導員」講習を修了した方。
- ②通教振が実施する「学習指導員資格認定試験」に合格した方。
- ③通教振が「生涯学習奨励講座」と認定している講座を修了した方、またはそれに代わる専門的な知識、技能をもつと通教振が認めた方。
- ④申請時に満18歳以上であること。



発行/社団法人 日本通信教育振興協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町26野口ハウス304

●お問い合わせ tel.03-3352-1971 fax.03-3352-7015

●ホームページ <http://www.jais.or.jp/> ●メールアドレス info@jais.or.jp